

11/23～27

老人は死ねというのか！ 佐久間忠夫 国会前“怒りのハンガーストライキ”決行

自公政権の打ち出した「後期高齢者医療制度」の廃止を求めて、昨年10月、国会前5日間のハンガーストライキを取り組みました。「老人は死ねというのか！」という怒りの声を、佐久間忠夫が身を挺してハンストという形でアピールしました。多くの皆さまの励まし・ご支援の下、無事5日間貫徹しました。

先日の衆議院選挙で「政権交代」となり、三党連立政権が発足しました。小泉政権以降急速に進んだ弱者切り捨て政策に対して、多くの国民が「もう我慢できない！」と自公政権を退場させました。

さて、このたび後期高齢者医療制度を廃止させる会として、再度の国会前行動を取り組むこととなりました。「政権交代」が進んでも目に見える形で変化が見られない現状に対して、黙って見ているわけにはいかない！とハンガーストライキを再度取り組みます。派遣法、社会保障、奨学金、国鉄労働者の救済問題など多くの問題が山積しています。鳩山政権に対して早期の対応を求めていきます。多くの皆さまのご支援・ご協力を心より呼びかけます。

□ 国会前ハンガーストライキ □

日時：11月23日(休)～27(金)9時～16時

場所：衆議院第2議員会館前

主催：後期高齢者医療制度を廃止させる会

○ ハンスト成功させるつどい ○

日時：11月20日(金)19:00～20:30

場所：大田区民センター(JR 蒲田駅徒歩15分)

03-3734-0761

内容：秋期情勢の確認

ハンスト成功に向けた討議

後期高齢者医療制度を廃止させる会

呼びかけ人(佐久間忠夫、遠藤恭、岡村孝子、大須賀恒男)

東京都品川区二葉1-8-6 平和共同事務所内

Tel/FAX: 03-3783-3370

ブログ：<http://koukiiryouseidono.seesaa.net/>



後期高齢者医療制度廃止!